

育児休業に関する体験記

30 代 122 日間取得

① 家事 ・ 育児 について	1. 育児休業前に、夫婦で家事・育児の分担をどのように話し合い、行ったか 家事は分担を決めずにやった。新生児の頃は、昼夜に関係なく 3 時間ごとに起きては泣いていたので、睡眠時間を確保するため、2 交替で交互に寝て育児をしました。 2. 育児休業後の家事・育児の参画の状況について 復帰後の平日の育児は、主に妻が行っているの、休日に家事や育児をするようにしています。妻には感謝しています。 （妻 記載欄）休業取得者の家事・育児の参画の状況について ミルク、お風呂、オムツ替え、寝かしつけを積極的に行ってくれてとても心強かったです。慣れない育児で色んな事がありましたが、二人で協力して育児に取り組めた事が良かったです。
② 仕事 について	1. 休業取得前、仕事の引継ぎはどのように行ったか 年単位で進める業務が多いため、自分の中で区切りのつけ方をイメージして、逆算して引継ぎスケジュールを立てて進めた。 2. 評価・反省 最初にイメージしたスケジュールでおおよそ引継ぎは進んだ。引継いで頂いた方々には大変、感謝しています。

③ 自由 記述 (400 字程 度)	(取得者 記載欄) (例：育児休業取得の経緯、育休を終えての所感、周囲の反応) 取得の経緯ですが、私が学生で就活していた頃は男性の育休取得はほとんどなく、世間的に取得を推進していこうとしていた頃でした。その時、将来、自分に子どもができれば育休を取得しようと臆気ながら考えていました。それから10年以上が経ちましたが、実際に取得できて良かったです。 周囲の反応は肯定的なものが多かったです。親に育休を取ると伝えた時、男性なのにそんなに休んでいいの！？と驚かれたことは心に残っています。ノルウェーでは10年以上前から男性育休の取得率が高く、男性も育児をすることが一般的なようです。これまで取得率の差はなかなか縮まりませんでしたが、近年は日本の男性育休取得率も上がりはじめており、将来、取得を促進するという体験記の目的が達成されて役割を終える時が来ると良いなと思います。 子どもが産まれた時から、これまで経験していないことの連続でした。大変なこともありましたが、新鮮な毎日を過ごせました。日々、成長していく子どもを間近で見れたことは、かけがえのない時間でした。
---	---